



と お ま や ま と
遠 間 大 和
(新政会)

施政方針について

市長就任後の施政方針について

問 一般財源枠配分方式を今後も続けていくのか。

答 様子を見ながらとなりますが、成果は上がっていると考えています。

問 市長として安中市鳥獣被害防止対策協議会についての考えは。

答 大変効果があったと考えます。道の駅は施政方針に入ったり入らなかったりだが、市長として道の駅の考えは。

答 有効・必要であると捉えています。

問 道の駅について市長の今任期中に方向性を出すのか。

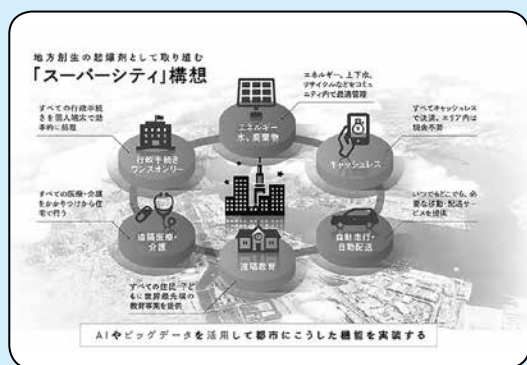
答 出していきます。

市民の快適な暮らしや生命と財産を守るまちづくりについて


問 スーパーシティ構想についての考えは。

答 新しく国から発信されているものと捉え、参考にします。

問 市長として戦略特区などを活用



国が推し進めるスーパーシティ構想を安中へ



な が し ま よ う こ
長 嶋 陽 子
(公明党)

健康予防・マイナンバーカード・SDGs (持続可能な開発目標) について

糖尿病の重症化予防について

問 医療機関未受診者への受診勧奨の取り組みは。

答 受診勧奨連絡票の郵送や家庭訪問を行い、適切な治療に結びつけるため、安中市医師会と連携し実施しています。

高齢者肺炎球菌ワクチン接種について

問 本年度の対象者の接種状況は。

答 対象者2400人に対し、本年1月末までは、接種者数が583人、接種率は24・3%です。

問 接種率向上に向けた取り組みは。

答 より分かりやすい形で周知ができるよう進めます。

マイナンバーカード普及について

問 カード申請率の現状は。

答 市の人口に対する申請率は、12・96%です。

問 普及を促進するサポ

ートの考えは。

答 写真撮影から申請までを窓口で行えるよう準備しています。

SDGsの取り組みについて

問 市民への普及啓発は。

答 SDGsにおける17の目標は、健康福祉、教育、ジェンダー平等、貧困、働きがいなど多くの課題に対応しており、またそれぞれの目標は密接に関連しています。そのため、福祉、教育、人権など各仕事の分野を横断して、あらゆる機会です、SDGsの理念や目標の普及啓発に努めていく必要があると考えます。



持続可能な未来のため

●一般財源枠配分方式…一般財源を所属別に枠として配分し、その範囲内で予算請求する方式のことです。
●SDGs (持続可能な開発目標)…2015年に国連が採択した、2030年の達成を目指して国際社会全体で取り組む目標です。17の目標、169のターゲットで構成され、「誰も置き去りにしない」をスローガンにしています。